



STOP 糖尿病

糖尿病ケア通信 2020年5月11日発行 2号

糖尿病と歯周病には深～い相関関係があります。糖尿病患者はそうでない人に比べ歯周病罹患率が2倍、反対に歯周病がある人はそうでない人に比べ糖尿病の罹患率が2倍という報告もあります。

糖尿病がある人は歯周病になりやすく重症化しやすい

歯周病がある人は糖尿病の治療が困難になりやすい

医科歯科連携が重要



【その理由】

- ・口腔内が乾燥
- ・骨量減少による歯槽骨の脆弱化
- ・唾液の糖度濃度上昇
- ・組織修復力の低下
- ・抵抗力減退、易感染性

【その理由】

- ・慢性炎症によるサイトカインの増加
- ・インスリンの効き目が悪くなる
- ・食事療法が困難になる

糖尿病ケア 2020. 4 より抜粋

わたしたちは、**糖尿病を改善**するために、**内科と歯科の受診**をおすすめしています。



糖尿病が改善すると歯周病も改善する

歯周病の改善

歯周病菌に感染しにくくなる

身体の抵抗力が上がる

糖尿病と歯周病は深く関係します。

歯周病菌による炎症性物質が減少する

インスリンの効き目が良くなる

糖尿病の改善

歯周病治療により糖尿病も改善する

青森県「糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業」

青森県の糖尿病死亡率、歯周病罹患率はともに高いことから、青森県「糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業」が開始となりました。

令和2年4月から県内の(内科などの)医療機関、歯科医療機関、薬局では、糖尿病や歯周病の患者に受診勧奨をされており、当院も連携協力医療機関となっています。

自部署の糖尿病患者に！



糖尿病と歯周病の関係について理解していただき、歯科受診の必要性を説明してほしいと思います。

文責：成田